

BARÁTSÁG

バラッチャーグ(友情)

日本ハンガリー友好協会会報

2024年5月28日発行

発行所: 日本ハンガリー友好協会

〒141-0022 東京都品川区東五反田5-28-11

クレール五反田609号

TEL: 03-3473-9870 FAX: 03-3440-9495

<http://www.jpnhun.org>

No.178

ハンガリー大使館で新年祝賀会開催



2024年2月3日、ハンガリー友好協会の新年会が、久しぶりにハンガリー大使館で開かれ、多くの方が期待に満ちて集まりました。

司会は、常務理事の瀬川氏が担当されました。続いて乾杯の挨拶は、副会長の北村氏(城西国際大学

常務理事)が担当されました。



清水理事長からは、まず、今年1月の能登震災で亡くなった方への黙とうと被災者の方への支援・寄付の呼びかけが行われ、ハンガリーでも募金活動が開始されたことに感謝されました。また新大使は城西国際大学大学院の卒業生であり、協会理事長としてだけでなく城西国際大学の教員としても新大使の御着任を嬉しく思うと喜びを表明されました。さらに経済分野を得意とされる新大使の下、経団連の国際関係の役員としても日本の経済界とハンガリーがより密接な協力関係を築けるよう尽力していきたいと挨拶されました。



ハンガリー大使館オルネル＝バーリン・アンナ大使は、日本・ハンガリーの良好な関係の基盤が、実績あるこの友好協会にあることに深く感謝され、また城西国際大学の卒業生としての日本との強いかかわりや、女性大使としての特性を生かし、交流活動を全国各地で強化したい、ハンガリーと日本の友好関係を示し存在感を高めるため、東京だけでなく、大阪万博や地方でも交流を広げたいと、抱負を述べられました。最後に日本式に、全力を尽くして頑張ります!と締めくくられ、友好協会の皆様から温かい共感の拍手を受けられました。



今年のミニコンサートは、萩原淑子理事のご尽力により、ハンガリー出身で世界的なクラリネット奏者、コハーン・イシュトバーン氏の演奏が実現しました。ブラームスの「ハンガリアン舞曲」から、コハーン氏編曲のガーシュイン「ラプソディーインブルー」へと続きピアノ斎藤龍氏とのアンサンブルで、ダイナミックで華やかな演奏会になりました。皆、その美しい音色に堪能した素晴らしい時間を過ごすことができました。



その後は、ハンガリー大使館の素晴らしいハンガリー料理を久しぶりに味わいつつ、大使館の方々やハンガリー関係の皆様とともに、歓談を楽しみました。最後に集まれた皆さんで集合写真を取りました。コロナ後の久しぶりの大使館での交流と新しい女性大使のご就任を喜び、今後のハンガリー友好協会の発展を祈りつつ新年会を終了しました。これからも

楽しい会を企画していきたいと思います。ご参加下さった皆様ありがとうございました。

駐日ハンガリー大使 オルネル＝バーリン・アンナ ご挨拶

2024年2月、駐日ハンガリー大使館での新年会にご出席された会員の皆様にはご挨拶させて戴きましたが、この会報でもこのような機会を頂戴でき光栄です。

2023年秋に着任し約半年経った今、日本でかつて外交官として勤務した当時から繋がるご縁、それは日本ハンガリー友好協会の皆様をはじめ、各方面で出会った方々との関係が今も大使としての仕事に大変役立っていると感じています。この状況が続くことで、更に豊かな関係を作り上げられればと願っております。

現在、両国間の相互理解は非常にスムーズで、何よりも人と人との交流を重視する私には嬉しいことです。駐日ハンガリー大使館としては初めての女性大使としての特性、女性パワーのチャンネルを生かして東京を中心にした動きだけでなく、全国各地との繋がりを強化し、交流を広げて行くつもりです。来年の大阪万博を前に年内中には、大阪市内にハンガリー大使館の代表部としての在阪オフィスのオープンが予定されています。関西圏内にはハンガリーへの進出企業も多く、領事サービスを含め、ビジネス面でのサポートだけでなくハンガリー文化を紹介する場として機能することを期待しています。

日本国内にある在京大使館、リスト・ハンガリー文化センター、そしてハンガリーオフィスの開設によってハンガリーの政府機関が3か所になり、この事実はハンガリーの存在感を高め、歴史的な第一歩となると思っております。今後、両国間の重要課題に関するハイレベルな政治的対話を継続させると共に、我が国を様々な観点から紹介し、更に多くの皆様方に理解を深めていくことが大使としての使命だと考えています。最後になりますが、日本という素晴らしい国で私がハンガリーを代表し仕事ができることを大変光栄に感じております。皆様方との良き交流を通じて尽力してゆきますので、宜しくお願い致します。



没後70年 ロバート・キャパ写真展 「戦争を超えて一愛と共感の眼差し」を見る



1954年5月25日、インドシナ戦争を取材中に地雷を踏んで亡くなったハンガリーが生んだ世界的な写真

家、ロバート・キャパが今年、没後70周年を迎えた。日本ではこれまで幾度もキャパの写真展が開催されており、今回10年ぶりに、東京富士美術館で4月9日から6月23日まで、「戦争を超えて一愛と共感の眼差し」というタイトルで開催されている。

展示の第1章「ロバート・キャパの軌跡」では、スペイン内戦での傑作「崩れ落ちる兵士」、ノルマンディー上陸作戦の「Dデイ」と有名な写真が、第2章「ロバート・キャパをめぐる人々」では、アーネスト・ヘミングウェイ、イングリッド・バーグマンなどを撮った写真、第3章「ロバート・キャパーヴィンテージ・コレクション」では、撮影直後にプリントされ、全世界に配信された生の写真原稿が、第4章「ロバート・キャパと日本」では、東京、京都などで人々の日常を撮影した写真が、第5章「旅立ちそして伝説へ」では、インドシナ戦争に急遽派遣され、地雷を踏む前に撮影された写真が並び、最期に所持していたカメラ(ニコンS)が特別展示されている。

別室では「文化交流随想 大使館の美術展 ハンガリー大使館」が同時開催され、ハンガリー大使館が所蔵する美しいヘレンド磁



器の数々とハンガリー観光局のパネルや写真が展示されている。また、4月19日には、ハンガリー文化センターのメレーニ・クリスティナ所長による「歴史と文化」についての講演も行われ、レストランではハンガリー料理が食べられるなど、今までの写真展とは一味違った、美術館と大使館のコラボレーションが来場者を楽しませてくれている。

文・写真 田崎龍一

新ハンガリー大使 信任状捧呈式 馬車で皇居へ向かう



大使館前で

新任のハンガリー特命全権大使 オルネル＝バーリン・アンナ閣下が信任状を天皇陛下に捧呈する儀式が12月27日皇居で行われました。



皇宮警察騎馬隊の先導で東京駅を出発

この日朝、大使一行7名は、宮内庁職員のご案内で大使館から車で東京駅へ向かい、貴賓室で東京駅長と懇談後、10時25分に3台の儀装馬車に分乗して皇居へ出発されました。その後、宮殿松の間での捧呈式を終え、11時40分頃に東京駅に戻られました。



バーリン・アンナ大使と宮内庁職員

儀装馬車による送迎は、コロナの影響で2020年3月を最後に中止されていましたが、政府のコロナ対策の見直しにより復活しました。



皇居を出発

東京駅には珍しい光景を一眼見ようと、多くの人が集まっていました。

文・写真 田崎龍一

マルセルさん外務大臣賞受賞 一日本語スピーチ・コンテスト



ハンガリー大使館の貿易経済担当アタッシュ、バグディ・トーツ・マルセルさんは昨年11月に開催された第26回各国大使館員日本語スピーチ・

コンテストで最高賞の外務大臣賞を受賞しました。

スピーチのタイトルは「エマ」。いろいろな経験をし、沢山の哲学書を読み、今、私は信じることによって、世界を理解でき、希望を抱き、互いを愛せるのではないかと考えるようになりました。ある時私は妻と神社に行き、子宝に恵まれるよう願いを「絵馬」に書きました。その後、女の子を授かったことが分かり、その子の名前を「恵真(えま)」とすることに決めました。世界の人々が、みなさんの日常が信、愛、望に満たされるよう願っています。

マルセルさんは小さいころ空手が好きで、高校生の時、一年間奈良県の畝傍高校に留学、柔道、書道、琴などに触れ、その後、ケンブリッジ大で東アジアの経済を学び2022年8月から駐日ハンガリー大使館に勤務しています。

遊佐町ソルノク市民間交流40周年記念事業 コバーチ・ミハイ氏のご逝去



遊佐町ソルノク市民間交流 40 周年記念事業 (2023/11/1～9) は広く「農業」「教育」「文化」の各方面に渡って訪問団を結成し総勢 14 名の団員でソルノクにおじゃましました。

ちょうど 30 年前の新年、100 名近くの訪問団を結成し、初めて訪れたソルノク市。あの日、シゲリゲティ劇場のステージで演奏するオーケストラ団員を客席から見つめたその劇場のステージに、今回は私もソルノクの皆さんと一緒に立つ事が出来ました。ソルノク市立交響楽団の音楽監督井崎正浩氏はじめ、ソルノク市立交響楽団、コダーイ合唱団の皆様には、諸事情の中大変お世話になりました。5 年前の訪問 (35 周年は夏、野外音楽ステージでの演奏でした) でお世話になった皆様との再会を喜び、再び声を合わせることができました。

遊佐混声合唱団創立 50 周年記念委嘱作品「遊佐讃歌」(作詞作曲：江上孝則)と一緒に歌いたいという私たちの希望に应邀いただき、井崎氏には日本語歌詞のハンガリー式発音ルビをふり、更には鳥海山の写真入りで歌詞のハンガリー語解説を入れた楽譜を用意いただきました。ソルノクの皆さんからのリクエスト曲「遥かなる鳥海山」そしてカライの「夕ぐれの歌声」の三曲。巧みなオーケストラの演奏とコダーイ合唱団のみなさんのみごとな日本語の発音に感動いたしました。私たちのハンガリー語は大丈夫だったのでしょうか？

この度の訪問でただ一つ残念だったのは、交流のシンボルであったコバーチ・ミハイ氏のご逝去です。繰り返した打ち合わせで状態が思わしくないことは承知していまし。

それでも 5 年振りの再会を期待していましたが、まさかの追悼の旅になりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

会員 高橋繁子

関西ハンガリー交流協会の新年会



2024 年度の関西ハンガリー交流協会の新年会について紹介させていただきます。会場は大阪大学中之島センター。来賓としてケレケシュ・アンドラーシュ経済担当官、柳本顕衆議院議員、三宅善信関西国連協会理事にご参加いただきました。催しは、安達萌さんのピアノ演奏に続きハンガリーから来られた Alis Adam ご夫妻のピアノ演奏。ハンガリー人と日本人の DUO でまさに交流協会に相応しい内容でした。参加者の皆さんは素晴らしい演奏に聴き入りました。集合写真撮影後、ブッフエスタイルの食事に舌鼓を打ちながら、皆さん交流与会話を大いに楽しまれました。ハンガリー関係グッズが当たる抽選会も行い、盛り上がりました。会員、ビジター含めて 56 名の参加。楽しいパーティーでした。

事務局長 中島裕司



ハンガリー文化センター活動紹介



この度、日本ハンガリー友好協会の会員皆様にリスト・ハンガリー文化センターについてご紹介できる機会をいただき、大変嬉しく思います。

2024年、文化センターは、ブダペスト市誕生150周年記念の写真コンテスト・写真展、「私のブダペスト」で幕を開けました。写真コンテストでは、日本ドナウフォトクラブの会員様から多くの作品をお寄せいただき心から感謝申し上げます。

一月末からは、一週間の会期で、明星大学による「Hunga-Re-Collection展」が開催され、ハンガリーで収集したデータからAR等を駆使したユニークな形でハンガリーが紹介されました。続いて2月8日からは、「絶品ハンガリーの推しグルメを召し上がれ！～ワインで乾杯～」と題したハンガリーグルメの展覧会を行い、ハンガリー料理の食品サンプルや食文化のパネル展示の他、「推し」グルメが見つかる巨大チャートで沢山の方にハンガリーの「推し」グルメを見つけていただきました。5月28日からは、昨年ノーベル賞を受賞したカリコー・カタリン博士の半生、そしてゆかりの品々をパネルと展示でご紹介致します。展示や日本語字幕付きの講演映像等を通して博士の功績や人柄に触れていただければ幸いです。8月上旬からは、ルービックキューブ誕生50周年記念展を予定しています。2020年に開催した『日本発売40周年展』の記憶が新しいところですが、更に驚くような展示を予定していますのでご期待ください。企画展以外にも、コンサート、講演会、ワークショップ等幅広い分野のイベントを行っており、友好協会の会員の方々にもご出演、ご参加いただいています。また、秋には毎年恒例になりつつあるハンガリーフェスティバルも開催予定ですので、今年もハンガリーの大切な仲間である、日本ハンガリー友好協会の皆様と色々な催しでお目にかかれる事を楽しみにしています。

リスト・ハンガリー文化センター所長
メレーニ・クリスティーナ

ハンガリー日本友好協会より ご挨拶申し上げます。



ハンガリー日本友好協会(1987年設立)の名誉会長として、日本におけるハンガリー文化の熱心なファンの皆様に、当協会のご挨拶をお送り申し上げます。私たちハンガリー日本友好協会は、ハンガリーで最も成功している団体の一つで、約600人の会員がいます。日本文化の伝統や価値観を広め、ハンガリーの草の根レベルで日本の様々な本当の姿を紹介することを目指しています。ハンガリー日本友好協会は、会費と寄付金で賄われています。協会のすべての理事と活動家は、熱心に積極的に活動しています。

ブダペストを中心としてバヤ、ドゥナウイヴァーロシュ、ジュール、ジュラ、ホードメゼーヴァーシャルハイ、ケチケメート、ケストハイ、ペーチ、セーケシュフェールヴァール、センテンドレ、ソルノク、ソンバトハイ、トルナ県、ヴァーツ、ヴェスプレーム県、ザラエゲルセグなどに支部があり、ハンガリー国内の多くの都市が活発に活動しています。地域支部とは別に、盆栽、武道、経済、俳句、生け花、日本食、折り紙、日本映画クラブ、風呂敷クラブなど、テーマ別に組織された活動団体があります。

様々なテーマの講演会、旅行者からの報告、アートのデモンストレーションなど、定期的にミーティングを開催しています。また、全国各地で日本文化イベントを開催し、ブダペストなどで需要に応じて日本語講座を運営しています。

現会長タカーチ・ヨーージェフ氏(2023年5月から)は、2002年から2023年まで会長を務めたユディット・ビハール博士の遺産を引き継ぎ、日本と日本国民への理解を深めることに貢献する様々な活動やイベント活動を行うことにより、ハンガリー日本友好協会の伝統と活動を守り続けています。

ユディット・ヒダシ(博士)

サークル紹介

石本禮子さんをしのぶ： ハンガリー文芸クラブ



去る3月2日、5年ぶりに友好協会五反田事務所にて例会を開催いたしました。今回は、2023年に国民的詩人ペテーフィ・

シャーンドルの生誕200年をむかえたことになみ、柴なほから中国の魯迅がペテーフィについて書いた散文をいくつか紹介しました。魯迅は日本留学時、東京の丸善でレクラム文庫のペテーフィの著作をとりよせ、その文学に傾倒していきました。

また例会の後半は、2023年10月30日にご逝去された石本禮子さんを偲び、みなさんと思い出を語り合いました。ご長女の中野あゆみさんからは、文芸クラブにあたたかなメッセージをいただき、メンバーの糸栄美子さんからは、ハンガリー生活の紹介本の先駆けであった『ブダペストの春から秋』、そして岩波文庫の『ハンガリー民話集』の出版にご尽力されたお話などを聴きました。次回例会は2024年秋に予定しております。

ハンガリー文芸クラブ事務局 柴なほ



ハンガリーワイン& パーリンカ協会

当協会は2021年8月にハンガリーが誇るお酒であるワイン、パーリンカの紹介、普及を目的に設立されました。これまで開催したワインセミナーでは、幅広い会員の皆様に、気軽にハンガリーのお酒を知り、楽しんで頂いております。

他にも芸術・文化の面を通してお酒を知って頂けるよう、ハンガリー大使館で行われる新年会や懇親会ではハンガリーに留学経験のある音楽家によるコンサートもお楽しみ頂き

ながら皆様の親睦をはかっております。

また2023年夏には日比谷公園にて開催された丸の内音頭大盆踊り大会に参加し、大変な盛況となりました。

2024年度も定期的なワインセミナー、新年会、総会、イベントへの出店等を予定しております。どなた様も気軽にお酒を楽しんで頂けます。

皆様のご入会、ご参加をお待ちしております。

代表理事 浅野衣美

同 東 孝江

URL: <https://www.hungarywine-palinka.com>



ブダペスト誕生150周年記念写真展「私のブダペスト」 グランプリ受賞



メレーニ・クリスティナ所長から
賞状と記念品を贈呈される

リスト・ハンガリー文化センター主催の写真展「私のブダペスト」が昨年11月17日に始まり、一般からの応募作品65点が展示されました。1月26日までの会期中に来場者の投票が行われ、

日本ドナウフォトクラブの加藤雅己さんの作品が最高得点を獲得して、見事、グランプリを受賞されました。



グランプリ作品

総会・懇親会のご案内

年に一度の総会・懇親会を下記の通り開催いたします。
何卒こぞって参加いただきますようお願い申し上げます。

- **開催日時** 2024年6月8日(土)
総会 11:00~12:00 懇親会 12:00~14:00
- **会場** 主婦会館 プラザエフ 東京都千代田区六番町15番地
3階 ソレイユ(総会)、2階 エフ(懇親会)
電話: 03-3265-8111
- **議題** 1) 2023年度活動報告 2) 2023年度決算報告
3) 2024年度活動方針 4) 2024年度予算 5) 役員人事 他
- **会費** 1名につき 7,000円(当日集金)

参加申込方法: 5月上旬に郵送した総会案内状に同封の返信用葉書に参加者氏名を明記(法人会員の場合は会社名も)の上、5月末日必着で申込願います。欠席の場合も委任状が必要です。から欠席に○をして必ず投函願います。

能登震災支援金協力者 氏名(敬称略)

2024年2月/石倉秀哉(東京都)、佐々波浩一(埼玉県)、阿部好伸・京子(静岡県)、瀬川隆夫・知恵子(東京都)、膳所博美(埼玉県)、清水祥之(千葉県)、神宮寺良吉・和美・良友(山梨県)、浅野春美(東京都)、大梶俊夫・陽子・妙子(東京都)、吉岡玲子・賢(東京都)、スズキ株式会社(東京都)、森田恵夫(東京都)、梶山佳代(茨城県)、並河克彦・宏樹(神奈川県)、石井幹子(東京都)、高久圭二郎(埼玉県)、江崎正邦(神奈川県)、金井俊文(東京都)、東孝江(東京都)、川野勝茂(東京都)、徳田政太郎(岡山県)、田代慎之介(埼玉県)、浜中勝・富子(東京都)、山田裕子(埼玉県)、鍋倉眞一・美樹子(東京都)、松尾守之(神奈川県)

能登震災支援金ありがとうございます。金額につきましては、支援金そのものを多とさせて戴きまして、不掲載と致します。

カンパ協力者 氏名 (敬称略)

2023年 大梶俊夫・陽子・妙子(東京都)、清水祥之(千葉県)、
12月 鈴木尚美(愛知県)、杉山瑞樹(神奈川県)

2024年 保科亮子(東京都)、大場嘉子(東京都)、
1月 坂詰彌彦(東京都)、佐藤一輝(千葉県)、
早川博行(東京都)、石嶋弘(愛知県)

2024年 2月 井崎正浩・春江(東京都)

3月 床坊千絵(石川県)

カンパを頂きましてありがとうございます。金額につきましては、カンパそのものを多とさせて戴きまして、不掲載と致します。

新規入会者のご紹介(2024年)

1月 村山遥(東京都)

2月 石川雄一・優里子(東京都)

(敬称略)

編集後記

2023-2024年からハンガリー大使も文化センターの所長も、若いハンガリー女性という時代に入りました。大使も文化センター所長もフル回転で日本との友好、経済界との交流、地域交流、大学交流などに力を入れて下さっています。ぜひ皆様もご協力下さい。また今回からいよいよ会報のオンライン化に進みました。オンラインフルカラーの会報はいかがでしょうか。紙で見られないのは寂しいかもしれませんが、メール、ホームページで色鮮やかに、拡大してみられます。親しいお友達や、ハンガリーのご友人にもメールで送っていただき、友好協会のメンバーになっていただければと存じます。ハンガリーに行かれた方、ハンガリー関係のコンサートやイベントに参加された方、ハンガリー関係のお仕事をなさっておられる方、ぜひご一報、ご寄稿下さい。皆様のご活躍をお祈りいたします。

広報編集委員会: 羽場久美子(委員長)、東孝江、田崎龍一、中谷治義、萩原淑子、佐々波紘一





おいしいを贈る

ESSENCIA

Since 1991



世界三大貴腐ワイン

トカイ・アスー・
6プットニョシュ

深みのある琥珀色で濃厚な蜂蜜
やドライプラム、ローストアーモン
ド、チョコレートの香りが感じら
れます。

濃厚な甘みが穏やかな酸とアル
コール分にバランスよく支えら
れ、樽由来のタンニンが熟成感
を伴いながら余韻の味わいへと
導きます。

フォアグラのテリーヌ、ブルー
チーズ、チョコレートケーキなど
によく合います。



DR HONEY
食のオスカー
「グレート・テイスト・アワード」受賞!

アカシアの森からの贈り物
ハンガリー
アカシアはちみつ

広大で豊かなアカシアの森で採れた
ハンガリーのアカシアはちみつは、
「はちみつの女王」と呼ばれています。
クセがなく上品で繊細な味と香り。
パンやヨーグルト、料理はもちろん、ドリ
ンクの甘味料としてもおすすめです。



アカシアの花

株式会社スズキビジネス 特販事業部

〒431-0201 静岡県浜松市中央区篠原町 21339

TEL.053-440-1098 FAX.053-448-9541

ご希望の方に通販カタログ「Essencia」をお届けします。



おいしいを贈る

ESSENCIA

<https://hungary-wine.com/>

ハンガリーのワインとはちみつにこだわり約30年。
ハンガリーワインの取り扱い種類は国内最大級!



アクセスはこちら▲